(別紙)

様式第1号(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	平成28年度第6回美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会
開 催 日 時	平成29年3月29日(水) 13時00分 開会 14時45分 閉会
開 催 場 所	グリーンビレッジ美幌 1階食堂
出 席 者 氏 名	【本部会議委員】 横山委員、城委員、石川委員、田村委員、吉江委員、 村田委員、端委員、水島委員
欠 席 者 氏 名	信太委員
事務局職員職氏名	広島総務部長、小室政策主幹、森久保計画担当主査、
議 題	1 美幌版総合戦略に基づく事業の見直し等について 2 施策の重要業績評価指標(KPI)の見直しについて 3 美幌版総合戦略及びアクションプランの改訂について 4 その他
会議の公開又は 非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	—
傍 聴 人 の 数 (会議を公開した場合)	1名(報道機関)
会 議 資 料 の 名 称	<ul style="list-style-type: none"> ・美幌版総合戦略に係る事業実施結果報告 ・追加事業 ・平成29年度当初予算一覧 ・施策の重要業績評価指標(KPI)の見直し(案)について ・美幌版総合戦略改訂(案) ・アクションプラン改訂(案)
会議録の作成方針	☐ 録音テープを使用した全部記録
	☒ 録音テープを使用した要点記録
	☐ 要点記録

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	<p>次に、基本戦略3に移っていただいて、4番目「妊婦一般健康診査等補助事業」、7番目「エンゼルサポート120事業」について、まとめて説明させていただきます。平成27年度の指標がどちらも「補助率」となっており、皆さまからは100%になるのが当然であり指標には適さないので「対象者数」という指標にしてはどうかというご意見をいただきました。これについて原課と協議したところ、対象者が妊婦さんや乳幼児を持つ世帯であることから、年度途中で妊娠したり、転出や転入で数が増減しやすいため、「数」による指標の設定は非常に難しいとのことでした。そのため、こうした事業を周知して、対象となった人には助成を受け忘れることなどがないようにサポートしていくという意味合いから、「対象者補助率」にしたいということで、皆さまにはご理解をお願いしたいと思います。</p> <p>次のページ、12番「子育て世帯・若年者支援対策事業」についてです。27年度は地方創生交付金が交付されたことによる回数の増、また、道からも一部助成されたこともあり従来のプレミアム率50%を55%に上乘せを行い実施したところですが、28年度におきましては従来どおりのプレミアム率50%の商品券発行事業となりました。また、関係団体等と協議した結果、若年者に対する支援分を子育て世帯分に廻し、子育て世帯に特化する形となっております。そのため、事業名称は「子育て世帯応援事業」に変更させていただいております。</p> <p>その下、13番の「多子世帯支援対策事業」についてですが、27年度は地方創生交付金の活用により実施したところで、地方創生に非常に有効であったという意見を皆様からもいただきましたが、予算の関係上、27年度限りの事業ということで、予定通り終了となります。</p> <p>次に14番「子育て世帯禁煙サポート補助事業」についてであります。27年度の指標値がサポート事業補助対象者100名に対し、たった3名だったことから、今後の周知方法について皆さまからご意見をいただいたところでございます。その意見を原課に伝えたところ、幼稚園などの子育て支援施設や図書館などの社会教育施設におけるポスター掲示やチラシの配布、また、がん検診や特定検診時での周知のほか、小学校に出向いてのたばこに関する健康教育を実施するなどの対策を考えているとのことでした。なお、28年度及び29年度は指標値を20人に設定しています。</p> <p>次に、15番「乳幼児等医療費助成制度」についてです。これにつきましては、皆さまから指標の設定が分かりづらいとの指摘を受けていましたので、「医療証の受給者数」という文言を追加しました。そのため、数値が高いほど乳幼児等の人数が多い事になりますので、地方創生にとっては良いこととなります。</p> <p>続いて基本戦略4の1番目、「空き店舗活用事業」について、「実績はゼロとのことだったが、問合せは何件あったのか、また空き店舗情報があるならネットに公表してはどうか。」という意見をいただいたところでした。原課に確認したところ、問合せや相談も0件であったとのことでありました。また、空き店舗情報についてですが、昨年8月に町のホームページに掲載したところですが、店舗情報に再精査が必要なものが出たことから、一旦掲載を中止し、今年の1月から改訂したものを掲載しています。参考までに、ホームページから抜粋した資料を本日配付しています。</p> <p>次に、4番目「ワンコインバス、乗合タクシー等利用促進事業」について、利用者が減少している理由として、当初「人口減少により利用者が減少した」といった内容を記載していたのですが、委員の皆さまから、人口減少の減少率以上に利用者が減っているのも、それだけが理由ではなく、利便性や経路に問題があるのではとご指摘いただいていたところでした。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	<p>それに対し、原課に確認したところ、確かに高齢者などから経路に関する要望は受けているようですが、バスの運転手確保が困難で、増便や新たな路線などは、予算的な面も含めてバス会社と慎重に検討を重ねていきたいということでした。なお、⑧の列の利用者数が記載している欄に記載されております「地域内フィーダー系統」の意味についてですが、美幌町内で走っている路線バスのことで、美幌町では農村部の足として乗合タクシーも含めた数を計上しております。</p> <p>次のページをご覧くださいと思います。13番目「学生ボランティア学習サポート事業」についてですが、当初、指標を「事業実施校」としていましたが、委員の皆さまからのご意見により、「学習サポート事業参加人数」という指標に変更しております。</p> <p>次に15番目「防災対策事業」及び16番目「自主防災活動推進事業」についてです。こちらについては、委員の皆さまからご意見がありましたとおり、事業を細分化したところであり、「防災対策事業」の方は、おもに防災のための資機材整備や町主催での避難訓練などを実施することになっており、指標を「防災訓練参加者数」としてしています。</p> <p>「自主防災活動推進事業」の方は、主に各自主防災組織における避難訓練などを支援し、組織が未設立のところ呼びかけを行うこととなっておりますので、指標については以前から設定していた「自主防災組織の結成率」としてしています。</p> <p>以上、皆さまからご意見・ご指摘をいただいた部分を整理させていただき、報告とさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
横山会長	<p>はい、ありがとうございます。これについてご意見・ご質問はございますか。分かりづらいですかね。</p>
小室政策主幹	<p>皆さまからいただいた意見を、原課と協議させていただいて、直せる部分につきましては見直しを行ったものでございます。一部、見直しができない指標もございました。</p>
城委員	<p>エンゼルサポート事業について、指標化できないのであれば、これに載せるべきではない事業ということなのではないですか。載せなかったとしても、町としては行っている事業であるし。そもそも総合戦略に馴染まない事業であるということでは。</p>
広島総務部長	<p>事業自体は子育て支援策でありますので、馴染まないということでは無いと思います。指標としては、転入・転出により、数字が大きく増減するため、設定しづらいという原課の判断がありました。しかし、できないこともないと思いますので、再度協議してはどうか。</p>
城委員	<p>そうしないと、毎年毎年検証の度に同じ質問が出てくると思う。</p>
広島総務部長	<p>ゴミ袋配付の事業だったか。</p>
森久保計画担当主査	<p>そうです。ゴミ袋の配付枚数を指標にしてはどうかとも検討したのですが、月齢によって配付枚数が異なりますので、それも難しい。</p>
広島総務部長	<p>全体の人数で設定すればいいのではないか。それが増減あるということだが。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
森久保計画担当主査	それについても協議しまして、予算を取っている以上、人数をベースにして計上するため、全体的な人数は出せるが、予算が足らなくならないよう、多めに取っている。そのため、実績としてはそれを下回る数字しか出せなくなる。それを踏まえて適度な指標を設定するとなると、根拠が難しいと思うので、数字としての指標はしませんでしたというのが原課のお話です。
広島総務部長	過去の予算と実績を踏まえて、その実績率でもって設定したらいいのではないか。
小室政策主幹	原課としては予算を計上するための人数は多めに取っているのですが、その数字を避けたとのことですが、今部長からの指摘にあったように、実績に応じたもので指標の設定ができないか、再度原課と協議させていただきます。今ご意見いただいたことを伝えて、分かりやすいものにしたいと思います。（妊婦一般健康診査費等補助事業も同様）
城委員	人口減少対策というのなら、150件の申請のあったところを、170とか180とかにします、という設定の仕方が本来の指標の置き方ではないのかな。それだけ対象人数増やしますという。そういう考え方の設定ならしっくり来ると思う。原課の考えはあると思いますが。
横山会長	他はございますか。また総体的に最後にでも、何かあればその時に行っていただければと思います。では、次の説明をお願いします。
小室政策主幹	<p>はい、続きまして、「平成28年度・29年度事業の内容・指標設定」と「追加事業について」を説明させていただきます。「追加事業について」は、「28年度・29年度事業の内容・指標設定」の説明の中でお話しさせていただきます。資料は、先ほどと同じA3版の資料をご覧ください。基本戦略毎に一旦説明を切らせていただきますので、よろしくお願いします。</p> <p>まず、基本戦略1の2番目「地域しごと支援事業」の指標について、「就農に係る支援件数」としていましたが、平成27年度から制度内容が変わり、新規に就農もしくは従事してから5年以内に限度額まで何度も申請できることになったことから、支援件数はその年の新規の人数とイコールではないため、「新規就農者数・新規農業従事者数」に変更しています。</p> <p>続いて、5番目の「森林認証材ブランド化推進事業」についてですが、これは28年度の新規事業で地方創生交付金を活用したものでございます。FSC森林認証というブランドの材で、コアドライという新乾燥技術により新たな製品を開発し、それを建材として活用する事業内容となっていました。平成29年度は、地方創生交付金による事業ではありませんが、FSC森林認証材を活用した新商品開発を引き続き支援するというところで、「新開発製品10品」を新たな指標として設定しております。</p> <p>次のページ、8番目の「特産品等研究開発推進事業」についてですが、制度設計が進んでいく中で、事業名称を「地域特産品開発支援事業」に変えるというものです。これは、前回の会議の中で新規事業として皆さまに紹介させていただいたもので、美幌商工会議所を中心として展開予定の「びほろブランド認証制度」と両輪となって特産品開発とPRを進めていく内容となっています。予算額が記載されておりませんが、制度設計が固まり次第、実施予定となっておりますのでご理解いただきたいと思います。</p> <p>次に、9番目「観光振興事業」についてです。観光振興事業につきまし</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>小室政策主幹</p> <p>横山会長</p>	<p>では、平成29年度から国、北海道、近隣市町村が連携して阿寒国立公園満喫プロジェクトが実施されることになっており、美幌町では平成29年度に5千万円の予算により事業を実施することになっていきますので、事業内容を追加したところであります。</p> <p>次に11番目「まちのセールスマン事業」です。これは、推進委員の方からの提案事業と職員から出された提案事業を、原課が形にした事業となっており、28年度の6月補正で予算化されて実施しているものであります。美幌町の景色や特産品などを掲載した名刺サイズのミニPR紙を作成し、町民自らがセールスマンになってもらおうとするものです。指標としては「町民配布枚数」を設定しています。</p> <p>続きまして12番目「都市と農山漁村等連携推進事業」についてです。これにつきましては、28年度から新たに始まった二つの事業のことであり、事業内容といたしましては、一つは「オホーツク15町村と東京23区（江東区）の都市部との連携により、農林水産物を通じた交流・PRや地域に密着した体験観光・お試し暮らし等を通じた交流人口の増加を推進する。」となっており、もう一つは「オホーツク地域が一体となってイメージ戦略を推進することにより、都市部への知名度向上を目指し、交流人口の増加や物産交流につなげていく」とう内容の事業となっています。この2つの事業内容を合わせて「広域連携交流推進事業」という名称に変更したところであります。どちらも、美幌町単独ではなくオホーツク管内の市町村や振興局などと連携した活動となる予定ですが、実際に何をやるのかについては今後協議を重ねていくことになっております。</p> <p>指標については、「連携事業取組件数」としてありますが、両事業とも事業内容が固まっておきませんので、とりあえずこの設定内容とさせていただきますところであります。なお、事業内容が固まった段階で指標の見直しを行う事になるかと思っておりますので、よろしくお願ひします。</p> <p>次のページの16番目「美幌町商店街活性化事業」についてですが、平成27年度は地方創生交付金を活用して、美ほろ酔いナイトやスイーツフェア、ランチフェアという3つの美めぐりフェスタを実施しました。評判が良かったので28年度も継続を目指したのですが、関係団体との調整や予算の関係上、同じ事業は断念したことから、指標についても見直しを行い、各商店街が実施する「イベント件数」としたところであります。また、29年度におきましては、各商店街が独自に行うイベントへの支援ではなく、4つの商店会で組織する連合商店会として統一感を持ったイベントへ支援することとなりましたので、29年度の指標についても見直しを行っております。</p> <p>指標についてですが、1つが「ポイントシール消費枚数」です。これは夏頃の大売り出しで、ある金額以上の買い物をしたお客さんにはお店からシールを配布するもので、シールが消費されるほど活性化が図られるということになります。2つめは「抽選会来場者数」となっており、年末年始大売り出しで配布される抽選券やスマッピーカードに貯まったポイントによる抽選会の来場者数を指標としています。事業名は29年度から「商店街イベント事業」へ変更することとなっております。</p> <p>以上、「基本戦略1」を説明させていただきました。よろしくお願ひします。</p> <p>はい、ありがとうございます。今、説明いただきました基本戦略1について、ご意見等ありましたらお願ひします。」</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
城委員	2枚目の8番、地域特産品開発支援事業について、事業内容について赤字で追加されているのを読むと、28年度は制度設計で、29年度からは町がこの支援事業を担当して、地域団体が認証制度を担い、両者で特産品の開発及び販路拡大に努めるとあるのですが、その一方で予算に金額が入っていない。予算がないのに開発支援などを行っていくのか、という疑問です。
小室政策主幹	はい、今言われたように、28年度については制度設計でして、29年度から実施となっておりますが、まだ現時点の段階で制度設計が固まっています。引き続き制度設計を行っている最中でして、年度途中の補正を視野に入れて、進めていきたいということです。そこについては、横山会長がご存じかもしれません。
横山会長	たまたま昨日、農協さんや森林組合さんにご出席いただいて、これに係る会議をやらせていただいたところです。ブランド認証制度については、29年度から予算のない中で商工会議所が事務局となって実施するのは決定事項ですので、町の支援事業につきましても、平行して実施していくという話は担当部局から聞いています。ただ、具体的な時期や金額については把握していません。
城委員	補正予算での確保が視野に入っているのであれば、問題ありません。分かりました。
横山会長	他、ございませんか。では、何かありました改めて総体的な場でご意見いただきたいと思います。続いて、基本戦略2についてお願いします。
小室政策主幹	はい、次に基本戦略2の事業に移ります。NO. 2に「空き家バンク制度」とありますが、これを「空き家対策事業」に変更したいと考えています。「空き家バンク制度」につきましては、総合戦略の策定当初から入っていた事業で、空き家や空き店舗を不動産業者と連携し、移住や商店街活性化につなげていくことを目的として、町内の不動産業者や他市町村の制度を参考に制度設計を進めていきましたが、空き家対策については、利活用だけでなく危険家屋の観点からも取り進めることとなり、平成29年度は空き家の実態調査を行うことになったところであります。そのため、当該実態調査の状況により、空き家の取扱いを検討いくこととしたため、現段階において「空き家バンク制度」の構築は難しいと判断したものであります。が、空き家に関する対策をしないわけではないことから、町長を本部長とした役場内部で組織する本部会議において、空き家対策を行うことを明記した方がよいとの意見がありましたので、「空き家バンク制度」を「空き家対策」という名称に変え、内容もそれに合わせて変更したいと考えております。以上、「基本戦略2」を説明させていただきました。よろしく申し上げます。
横山会長	これは、29年度はあくまで調査という部分なので、指標だとか予算だとかは28、29年度全くないという理解でよろしいですか。
小室政策主幹	はい。
横山会長	何かご意見等ございますか。よろしいですか。では基本戦略3をお願い

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>横山会長</p> <p>小室政策主幹</p>	<p>します。</p> <p>はい、続きまして、基本戦略3についてご説明させていただきます。1番目「婚活総合支援プロジェクト」についてですが、当初マナー講座やお見合いパーティー、ホームページでの情報発信を実施することなどを予定していましたが、行政が主導して行うのはいかがなものかという疑問の声があること、また商工会議所青年部を中心とした婚活イベントなど、民間での動きもあることから、それらのサポートや国・道から有益な情報の提供などの内容にしたいと思います。</p> <p>次に2番目の「ピンクの婚姻届事業」についてですが、別紙の「追加事業」という資料をご覧くださいと思います。前回の会議では、「美幌町応援プロジェクト」という名称で皆さまにご説明していましたが、現在行っている「ピンク色の婚姻届」を切っ掛けとした美幌町のPRや、写真撮影サービスを充実させるといった内容のものです。FSC認証材のフォルダとピンク色の婚姻届を皆さまに見ていただきましたが、この婚姻届を目標に美幌町を訪れる町外者がいることから、地方創生に効果があると判断しました。</p> <p>参考までに、平成26年度の実績が73件、そのうち町外者が6件、27年度が104件、うち町外者が25件と成果が出ています。28年度はまだ途中の段階ですが、1月末までで76件、うち町外者が22件と、じわじわとPR効果が出ているものと考えているところであります。</p> <p>事業名称は外部から見て分かりやすい表現がいいと思いましたので、原課と相談して「ピンクの婚姻届事業」に変更したものであります。なお、PR冊子を作るということも前回お伝えしていましたが、現段階において内容が固まっておきませんので、引き続き検討することとなっています。指標につきましては婚姻届出数としています。</p> <p>次に5番目「産後1ヶ月健康診査費等補助事業」についてですが、これは平成28年度から新たに始まった事業で、産後の母子に対して健康診査費用と交通費を1回限りで補助するものとなっています。この指標については、先ほどご説明した4番目の「妊婦一般健康診査費等補助事業」と7番目の「エンゼルサポート120事業」と同様に、転出や転居などにより人数を指標値として設定するのは難しいため、「補助金対象者補助率」とさせていただいておりますが、先ほど皆さまかご指摘のありましたエンゼルサポート事業と同様、原課と再度協議させていただきたいと思います。</p> <p>次に、8番目の「子育て支援対策事業」については、平成28年度から支援を拡大したため、内容を追加しています。以上、「基本戦略3」を説明させていただきました。よろしくお願ひします。</p>
<p>横山会長</p> <p>小室政策主幹</p>	<p>はい、ただ今基本戦略3の説明について、ご意見等ございますでしょうか。では、続いて基本戦略4をお願いします。</p> <p>続きまして、「基本戦略4」についてご説明させていただきます。2番目「消費喚起プレミアム商品券発行事業」についてです。これも平成27年度は地方創生交付金や北海道からの補助もありましたが、平成28年度からは従来どおり町単独で実施しているため、「北海道と連携」という文言を削除しています。</p> <p>次に6番目「美幌町まちづくり参画プロジェクト」についてですが、これは平成28年度から始まった新規事業になります。この事業につきましては、「地域の学生ならではの意見・アイデア」によるまちづくり活動を</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	<p>支援するものになっており、平成28年度は美幌高校の生徒がこの事業を実施しているところであります。指標としては、28年度に1件、29年度は2件のプロジェクトを予定しています。</p> <p>続いて7番目の「地域おこし協力隊事業」についてですが、この事業につきましても平成28年度の新規事業で、29年度から着任するよう募集を行ったところであります。指標につきましては、「地域協力活動案件数」と「協力隊員数」の2つを掲げています。平成28年度に行った募集の活動内容から、石川委員のいらっしゃる森林組合さんと連携して進めておりましたが、先に結果報告をさせていただきますと、29年度の協力隊採用者はゼロという結果となりました。</p> <p>2名の募集をしていたところ、15名のエントリーがあり、そのうち美幌町まで面接に来たのは5名で、その中から2名の内定者を出したのですが、どちらも内定辞退をされましたので、結果的に採用に至らなかったものであります。採用になった際には、29年度の指標には協力隊員の活動成果が見られるような内容を設定したかったところですが、こうした結果のため、29年度は引き続き活動案件の構築と募集作業を行うこととなりますので、この指標とさせていただきますと思います。</p> <p>次のページになります。11番目「学力向上支援事業」についてでございます。きめ細かな学習指導を行い、基礎的・基本的な学力の定着を図ることを目的に、小学校に教育支援員を配置して、習熟度別の学習を実施するもので、28年度新規事業となっております。指標につきましては「教育支援員数」となっています。</p> <p>次に13番目「学生ボランティア学習サポート事業」につきましては、先ほどもご説明いたしましたとおり、当初指標を「事業実施校」としていましたが、委員の皆さまからのご意見により、「学習サポート事業参加人数」に指標を変更しています。</p> <p>次に、その下の14番目「国際交流事業」についてでございます。平成29年度の指標に新たに「ケンブリッジ訪問団の来町人員」を追加しております。これは、平成29年度に130年を迎えること、同時にケンブリッジ地区との友好姉妹都市提携をしてから20年を迎えることもあり、訪問団を招致することを計画していることから指標の設定を行っているところであります。具体的な内容や時期については、これから詰めていくことになっていきます。以上、「基本戦略4」を説明させていただきました。よろしく申し上げます。</p>
横山会長	<p>ただ今ご説明いただきました基本戦略4について、ご意見・ご質問等ありましたらお願いいたします。</p> <p>7番の地域おこし協力隊のことについて、29年度も引き続き募集を行うとのことですが、その募集の内容について、前回同様森林組合さんの部分になるのか、それとも新たなもので募集を掛けるのか、平行していくのか、分かる範囲でお願いします。</p>
小室政策主幹	<p>はい、これにつきましては、新たなものとして考えていきたいと思っていますので、時期が来ましたら、関係団体等のお力を借りて進めていきたいと思っていますので、よろしく申し上げます。</p>
横山会長	<p>もう一つ、6番目のまちづくり参画プロジェクトの関係について、28年度も29年度も予算が100万円となっている中で、指標が1件から29年度は2件となっていますので、その割合はどうなっているのでしょうか。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	か。
小室政策主幹	はい、当初予算について、すいません、28年度の当初予算に間違いがありました。63万4千円です。訂正願います。29年度の予算は100万円ということで、想定しているものとして、件数1件だけの補助限度額100万円を取っているものです。相談があったものが現時点で1件でしたので、その分の予算計上をさせていただいていますが、もう1件実施したいという意向がありますので、指標として2件とさせていただいたところ です。それに伴う予算につきましては、採用されましたら補正での予算計上を視野に入れていきます。
横山会長	他、ございますか。基本戦略1から4まで説明いただきましたが、総体的に通して質問等ございますか。よろしいですか。では、29年度の当初予算の関係について説明願います。
小室政策主幹	はい、「平成29年度当初予算一覧」について説明させていただきます。事前配布させていただいたA3版の資料をご覧くださいと思います。この資料につきましては、総合戦略に掲載されている事業の当初予算をまとめたものになります。個々の事業に係る詳細な説明は省略させていただきますので、1枚目の総額のみを報告させていただきます。 総額ですが、平成29年度当初予算は、事業費と書かれた列の緑色の部分が実総額となっており、約3億9千7百万円となっております。28年度当初予算から比較すると、約1千万円の増額となっております。様々な事業の増減による結果ですが、増額した要因として、先ほどもご説明いたしました「観光振興事業」における阿寒国立公園満喫プロジェクトを実施するための予算で5千万円増額となっております。逆に、減額の大きな要因として、「住宅リフォーム事業」で約2千5百万円、「少人数学級推進のための学習指導教諭の配置」を3名から1名になったことにより約1千万円、その他を入れて約4千万円の減額となっており、差し引き約1千万円の増額となっております。2枚目以降は、各事業の内訳となっておりますので、先ほどもお話しさせていただきましたが、省略させていただきますので、後ほどご覧いただければと思います。以上、よろしくお願ひします。
横山会長	はい、ただ今報告いただきましたことについて、ご質問等ございますか。先ほどの住宅リフォームの関係ですが、補助率だとかの事業内容が変更したことによる減ではなくて、単に総体的な数が減ったという理解でよろしいでしょうか。
小室政策主幹	はい、これまでの実績だとかにより計上数が減っただけで、事業内容に変更はありません。
横山会長	他、何かございますか。なければ次第の3番目、施策の重要業績評価指標の見直しについて、説明をお願いします。
小室政策主幹	はい、議題の3つ目「施策の重要業績評価指標（KPI）の見直しについて」ということで、A4の資料をご覧ください。KPIの設定についてですが、冒頭に記述していますが、各施策は、その下にぶら下がっている各事業の成果からもたらされるものを重要業績評価指標（KPI）として設定しています。事業とイコールのものもあれば、全体的な効果の中で見

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	<p>込まれるKPIもあります。これから見直すKPIについてご説明いたしますが、これからはこのA4資料とアクションプランを平行してご覧いただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。</p> <p>一つ目の見直すKPIですが、アクションプランの3ページ目をご覧ください。3ページ目は、基本戦略1の中の施策の1つで、「木育の推進による基幹産業の育成」という施策になっています。指標を「木育ひろばの利用者数」とし、平成31年度までの累計で2万5千人という数値を設定しておりましたが、この数値を見直そうとするものであります。</p> <p>見直しの理由としましては、木育広場「きてらす」が平成27年10月のオープン以来とても好評で、平成27年度だけで2万人を超える利用があったことから、目標を上方修正しようとするものであります。新たな数値としては、28年度を含めた実績を踏まえ、累計ではなく31年度に2万8千人という設定にしたいと考えております。以上、よろしくお願いします。</p>
横山会長	はい、今の説明に関して、ご意見・ご質問はございますでしょうか。
吉江委員	これは31年度の単年度に2万8千人ということでしょうか。
小室政策主幹	そうです。
吉江委員	この人数のカウントはどのようにしているのか。
小室政策主幹	入館前に記帳してもらっています。その数字ですが、逆に記入せず漏れている可能性もあります。
横山会長	その記帳に住所も書いてもらうようになっていますが、町外者の数というような指標を設定することもできるのかなと思うのですが、どうでしょうか。これだけ美幌町に町外者が来ているということが分かると、いいと思うし、指標だけでなく利用価値があると思うのですが。
吉江委員	参考として分かるといいよね。この部分だけでなく、まちづくりという面では、町外から人が来るというのはミソとなることだから、数字を押さえておいていいと思う。
広島総務部長	そうですね。議会からも必ず聞かれる部分ですしね。
村田委員	31年度だけ2万8千人という設定はどうなのかなと。29年度30年度がずっと2万8千人だったらいいけど、その年だけ越えればいいというものではないと思うので。
小室政策主幹	総合戦略は31年度までの数値を設定することとなっていて、28年度の設定では2万5千人、そして31年度までに年間千人の増加を目指した設定をしています。これでご理解いただけないでしょうか。
村田委員	極端なことをいえば、30年度に0人だったとしても、31年度に2万8千人来たらそれで達成ということになるのはどうなのかなということ。なので、28年度から31年度まで全て2万8千人としては駄目なのかなと思います。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	そうなりますと、累計として数値を足していく設定とか。
村田委員	それでもいいですし、そうすれば変な考えを持たれないと思います。
広島総務部長	しかし、そうした単年度の設定は数多くあります。その設定年度の31年度に向かって頑張らましようとなりますので、そのために各年頑張らましようとなる。最終年度にこの数字になるよう対策を打っていきましようということでご理解いただきたいと思います。
横山会長	部長がおっしゃったように、この総合戦略の最終年度は31年度で、この数値をアクションプランにも掲載しています。そして、検証において、28、29年度において数値が出るようになっていきますので、そこで分かるということになります。次のKPIのところは逆に累計での指標設定となっていますので、そこを統一させて、全て31年度の目標設定にしてはどうかなと思います。吉江委員、どうでしょう。
吉江委員	指標なので、本来は年度ごとに設定するのが正しいと思う。ただ、単年度ごとの確認ができるものがありますので、問題ないかなと思います。
広島総務部長	総合戦略の計画期間である31年度までは、毎年検証することとなっていますので、それぞれ年度の実績含めて、当初予定していた指標と比べてどうだったかというものを、引き続き検証を続けていくこととなりますので、実績が0ということにならないように、行政側が頑張っていくこととなります。
吉江委員	毎年検証していきますので、例えば途中で2万8千人を達成しましたよとなったら、31年度に向けてまた新たな目標に変更していくこともあるということですよ。
広島総務部長	そうです。
小室政策主幹	毎年皆さまにお渡ししている事業実施結果を元に、検証をしていきますので、そこも含めてご理解いただきたいと思います。
横山会長	はい、では2番目の説明をお願いします。
小室政策主幹	はい、「特産品開発等支援による地域力強化」ということで、アクションプランの4ページ目になります。これにつきましては、特産品開発案件数を3件と設定していたのですが、平成27年度で既に目標値を達成したため、10件に上方修正しようとするものであります。なお、この指標の10件についてですが、「地域特産品開発支援事業」を通じた特産品の開発案件数となっておりますのでご理解いただきたいと思います。よろしくお願ひします。
横山会長	ただ今の説明に対して、ご質問等ございますか。内容ですので、次の説明をお願いします。
小室政策主幹	続きまして、「地域資源を活かした滞留型観光の推進」の施策に入ります。アクションプランでは5ページ目になります。このKPIは、観光入込客

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	<p>数として美幌峠に訪れた観光客の数をカウントしています。これも先ほどと同様に、平成27年度で設定値を超えたため、新たな数値を81万人に上方修正するものであります。これにつきましては、行政内部で組織しているプロジェクトチーム会議において、27年度で約80万6千人の実績があつて、29年度から阿寒国立公園満喫プロジェクトが始まるのだからもっと高く設定してはどうかとの指摘があり、原課と協議したところ、28年度の実績見込みが大幅に減少する見込みであり、71万人程度を見込んでいることから、そこから新たに10万人増加させるという目標で、最終的に81万人と設定とさせていただいたところであります。よろしくお願ひします。</p>
横山会長	はい、これについてご質問等ございますか。
吉江委員	峠の入り込み客数はどのようにカウントしているのですか。
小室政策主幹	<p>はい、美幌峠レストハウスのところに、清掃作業員がおりまして、その方が30分ごとに車の台数を調べています。その数によってカウントしているのですが、それは乗用車1台について4人、バス1台につき35人とカウントするもので、かなりアバウトなものです。実際には2人しか乗っていないバスでも、バス1台が通ったことで、35人とカウントしています。ただ、営業時間内しかカウントしないので、それ以外の部分は入っていないということもあつて、その数字を実績として使っています。</p>
広島総務部長	残念ながら、正確な数字は誰も把握していない、できない状況ということです。
吉江委員	確かに、自分でピンポン押すわけにはいかないし。センサーでカウントするものがあるが、それを導入するとかはできないのか。
小室政策主幹	予算的にも制限的にも難しいですね。
横山会長	このカウントは、美幌峠だけの方法ではなく、全国的に観光地はこのような方法でカウントするというマニュアルがありまして、それに伴ってはじき出した数字です。
小室政策主幹	そうです、そのため、アバウトといいながら公式に出している数字になります。
吉江委員	28年度は大幅減少の見込みだそうだが、何か原因はわかりますか。
小室政策主幹	<p>担当部局の見解によると、インバウンドの観光客が減っていて、さらに北海道自体の観光客が減っていますが、それ以上に道東観光の減少率が大きいということで、それに伴う形で美幌峠も減っているというのがひとつ。それと、観光客が多く来る夏の時期に、28年度は天気が非常に悪く、第風もありましたし、霧などの発生で、トイレにすら立ち寄らない状況になったのではないかとのことでした。</p>
吉江委員	じゃらんなどの雑誌に出て人気出たのはいつでしたっけ。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	道の駅の完走者に対するアンケートで景色が綺麗ということで一位を取りましたが、それ以外にもランキングでは常に上位に入っています。
横山会長	昨年のじゃらんのランキングでは2位でしたが、今回は5位でした。
広島総務部長	その前が3位だったり、大体そのあたりなんですね。
吉江委員	28年度の外国人観光客はウトロではあるけれど、こちらは分かりませんが、本当の観光客としては増えている。以前のような爆買はないが、通常の観光としては道東は増えているはず。そのため、インバウンドが減ったためという見解は違うのではないかなと思う。
横山会長	新幹線の開通が影響しているのではないかと感じています。どうしても函館や札幌に集中してしまっていて、こちらまでの2次交通が整備されていないこともあって、そうした影響が出ているのではないかなと思う。
城委員	釧路十勝は増えているよね。
小室政策主幹	昨日の新聞に、道東の釧路十勝のラーメン旅という紙面が出ていましたね。
吉江委員	十勝はやり方が上手だね。あるときは十勝で、あるときは帯広。上手く使い分けている。
横山会長	それでは、よろしいですか。では、次をお願いします。
小室政策主幹	<p>はい、2つの施策をまとめて見直ししようと思います。1つは「妊娠・出産・子育てへの切れ目のない支援」という施策で、アクションプランの14ページ目、もう1つは「子ども・子育て支援の充実」という施策で、アクションプランの16ページ目になります。1つ目の「妊娠・出産・子育てへの切れ目のない支援」での施策は、主に結婚から就学前の子育てに関する支援をまとめたもので、2つ目の「子ども・子育て支援の充実」では、18歳以下の子どもに関する支援をまとめたものとして分けています。現在設定しているKPIでは、「子育て環境や支援に対する満足度」という指標となっております。当初は、アンケート結果を参考に設定したところですが、アンケートにつきましてもは毎年実施できないことから、効果検証が難しいため、指標の内容の変更を行おうとするものであります。変更後は、2つの施策に同じKPIを設定しようと考えておりますが、理由といたしまして、どちらも子育て支援策であるため、求められる効果は同じだと考えられること、また、近隣の市町村の総合戦略を参考に同じKPIに設定しようとするものであります。</p> <p>設定内容につきましては、一つが「出生数155人」にするもので、資料の「合計特殊出生率」をご覧いただきたいと思います。A4一枚物の資料なのですが、お手元にございますか。</p> <p>(ない→森久保退席しコピー)</p> <p>申し訳ございません。少し休憩を。</p>
城委員	休憩中にちょっと質問。ピンクの婚姻届について、前回の会議において委員から、写真撮影するときに味気ない壁で撮ってもしょうがないから、

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	きちんと整備したところで撮った方がいいんじゃないのという意見が出ましたが、それも含めての90万円の程の予算ということですか。
吉江委員	そうです。ロールスクリーンタイプにすると聞いています。
吉江委員	どのような柄にするのか。
広島総務部長	2種類作る予定です。1つは美幌峠、もう1つはまだ決まっていません。
小室政策主幹	東京の立川市だったかで、同じような取組をしています。届出用紙だったりフォルダだったり。ただ、販売しています。1千円で売って、記念に残るようにしていますね。
吉江委員	結婚というセレモニーだから買うかもしれないね。
城委員	確かに、観光地に来たら一枚千円の写真買うものだよな。
吉江委員	でもその販売は行政できないよね。委託かな。
小室政策主幹	そうですね、確か業者が行っているはずです。
吉江委員	でもいいアイデアだよな。
小室政策主幹	<p>（資料配付）</p> <p>はい、お待たせしました。今配付した資料、「合計特殊出生率」をご覧ください。平成27年の出生数と出生率の実績ですが、平成27年に生まれた子どもが116人、出生率1.27となっております。女性の年代別の出産割合が今後も変わらないと仮定した場合、基本戦略3の数値目標である出生率「1.70」にするために必要な出生数を逆算した結果、「155人」になるため、この数値設定としたところであります。かなり高めの設定ですが、国が示す出生率目標「1.70」に本町も合わせており、その1.70の出生率から導き出される数値としてご理解いただきたいと思っております。参考までに、出生率は暦年で計算しますが、平成28年の出生率は1.37、出生数は121人となっております。</p> <p>そして、もう一つのKPIは、子育て支援施設16施設を、今後も維持するという内容です。子育て施設の維持は子どもの数によって変わってくるということもあり、人口減少対策における指標になり得ると思ったこと、また、近隣の市町村の総合戦略を参考に施設維持というKPIを設定しようとするものであります。16施設は、資料に掲載していますが、町立や民間の保育園、幼稚園の他、学童、きてらす、しゃきっとプラザプレイルームであります。以上、よろしく申し上げます。</p>
横山会長	<p>はい、ありがとうございます。ただ今4、5をご説明いただきました。何かご意見等ございますか。よろしいですか。ではないということで進めさせていただきます。</p> <p>続いて、アクションプラン等の改訂について、説明願います。</p>
小室政策主幹	はい、「美幌版総合戦略及びアクションプランの改訂について」ですが、資料として「美幌版総合戦略（改訂案）」及び「アクションプラン

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>（改訂案）」を配布しております。改訂内容としては、議題1でお話した事業の追加、名称や内容の変更、議題2のK P Iの修正、それらを全て反映させたものとなっておりますので、細かな説明は省略させていただきますのでよろしくお願ひします。</p> <p>大変申し訳ありませんが、2箇所ほど訂正させていただきます。一つは「アクションプラン」ですが、表紙に「(案)」というものを「(改訂案)」に訂正していただきたいと思ひます。もう一つは、アクションプラン改訂案の8ページ目、一番下にある事業の「子育て世帯応援事業」について、こちら再掲事業となりますので、事業名の後に括弧書きで「再掲」と追加させていただきますようお願ひします。以上、よろしくお願ひします。</p> <p>はい、美幌版総合戦略の改訂、そしてアクションプランの改訂について、内容につきましては先ほどご説明のありました内容をまとめたものということで、何かご質問等ございますか。はい、ではないということで、次のその他の説明をお願ひします。</p>
小室政策主幹	<p>その他として、2点ほど連絡があります。まず、次回の会議についてですが、4月下旬から5月上旬を考えています。新年度ということで、事務局側また委員の皆さまの顔合わせ意味も兼ねて、懇親会付きの会議を開催したいと思ひます。そのため、会議時間としては夕方の4時とか4時半を予定しています。日程につきましては、事前に調整させていただきますので、よろしくお願ひします。</p> <p>次に、2点目でございます。今回2名の委員の方が、転勤と異動によって本日が最後の出席となります。1人が吉江委員でございまして、網走市へ転勤となります。もう1人が城委員で、総務部に異動されるとお聞きしております。平成27年7月にこのまち・ひと・しごと創生推進委員会を設置してから、約2年近く推進委員としてご尽力いただき、誠にありがとうございました。推進委員という立場は離れますが、今後とも美幌町、またこの総合戦略に対してご指導いただきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。</p>
横山会長	<p>今、事務局からご報告のありました吉江委員と城委員が転出並びに内部異動ということで、それぞれ一言お言葉をいただきたいと思ひますので、まずは吉江委員からご挨拶をお願ひします。</p>
吉江委員	<p>はい、簡単ではありますが、挨拶させていただきたいと思ひます。今回、本部の方に異動することとなりました。せっかくこのまち・ひと・しごと創生委員の仕事について、割と自由に話ができるようになってきたところで非常に残念です。もっともっと美幌町を良くなっていくようにという思ひで意見を出してきたつもりです。まだまだこれは続く施策ですので、是非、10年後、15年後と経過しても、たたき台がきちんとできていたというものになればいいなど、そして仕上げていって欲しいと思ひます。本当にありがとうございました。</p>
城委員	<p>短いというか長いというかお世話になりました。これからは委員という立場を離れますので、今度は応援する側に回り、決定・協議事項がスムーズに行くように陰ながら応援していきたいと思ひます。よろしくお願ひします。簡単ではありますが、御礼の挨拶とさせていただきます。今まで本当にお世話になりました。ありがとうございました。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>横山会長</p>	<p>吉江委員、城委員におかれましては、会議において忌憚のない意見を賜りまして、ありがとうございました。</p> <p>次の会議は4月下旬か5月上旬ということで、29年度最初の会議が開催されるということですので、皆さまよろしく申し上げます。本日はお疲れ様でした。</p> <p style="text-align: right;">了</p>